

令和5年度 就学説明会

1. 小学校の生活・学習
2. 就学（入学）までの流れ
3. まなびサポートとは？

浦安市教育委員会
教育センター



小学校の生活・学習



小学校では、授業、給食、清掃など、時間割に沿った規則正しい生活になります。

また、そうしたことを決められた時間内に、自分ひとりの力で、もしくは友達と協力して取り組むことが求められます。

通常の学級の1年生に求められる姿

知的能力

学校のルールを守ることができる

体・注意・集中

先生の話を着席して聞いて理解して行動できる

言語・知的能力



自己統制
集団適応

やりたくないことや苦手なことにも取り組むことができる

着替えや食事など、基本的な生活習慣が自立している

身辺自立
手先

身辺整理ができる

身辺自立
自己統制

いろいろな学びの場

入学時の子どもは、すでに多様な個性をもっています。市内の公立小学校17校では、子ども一人一人の教育的ニーズに応じたいろいろな学びの場を用意し、その子どもの持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服することを目的として、適切な指導および必要な支援を行っています。

- 通常の学級（全校設置）
- 特別支援学級（16校設置）
- 特別支援学校

通常の学級

- 大きい集団（1クラス最大35～40人）で学ぶ。
- 定められたカリキュラムに沿った教科学習
- 担任が大きな集団の中で特別支援教育
（個に応じた指導・支援）を行う。

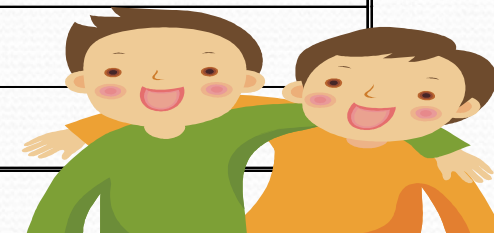
小学校通常の学級（例）

	月	火	水	木	金
1	こくご	さんすう	こくご	さんすう	こくご
2	せいかつ	こくご	さんすう	こくご	さんすう
3	こくご	こくご	たいいく	ずこう	たいいく
4	たいいく	せいかつ	おんがく	がっきゅう	こくご
5	おんがく	どうとく	せいかつ	としょ	ずこう

1年生は、これから学習を進めていく上で必要となる文字、言葉、数の学習が多くあります。

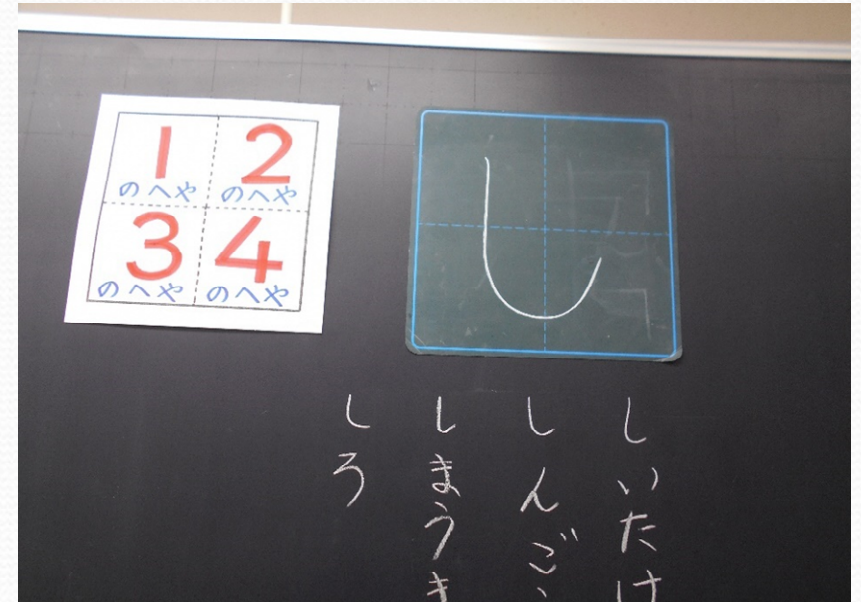
小学校1年生の日課表

	時間
朝の会	8 : 15 ~ 8 : 20
読み聞かせ等	8 : 25 ~ 8 : 40
1校時	8 : 40 ~ 9 : 25
2校時	9 : 35 ~ 10 : 20
業間休み	10 : 20 ~ 10 : 35
3校時	10 : 40 ~ 11 : 25
4校時	11 : 30 ~ 12 : 20
給食	12 : 20 ~ 13 : 00
昼休み	13 : 00 ~ 13 : 20
清掃	1 : 25 ~ 1 : 40
5校時	1 : 45 ~ 2 : 30
帰りの会	2 : 30 ~ 2 : 45
下校	2 : 45 ~



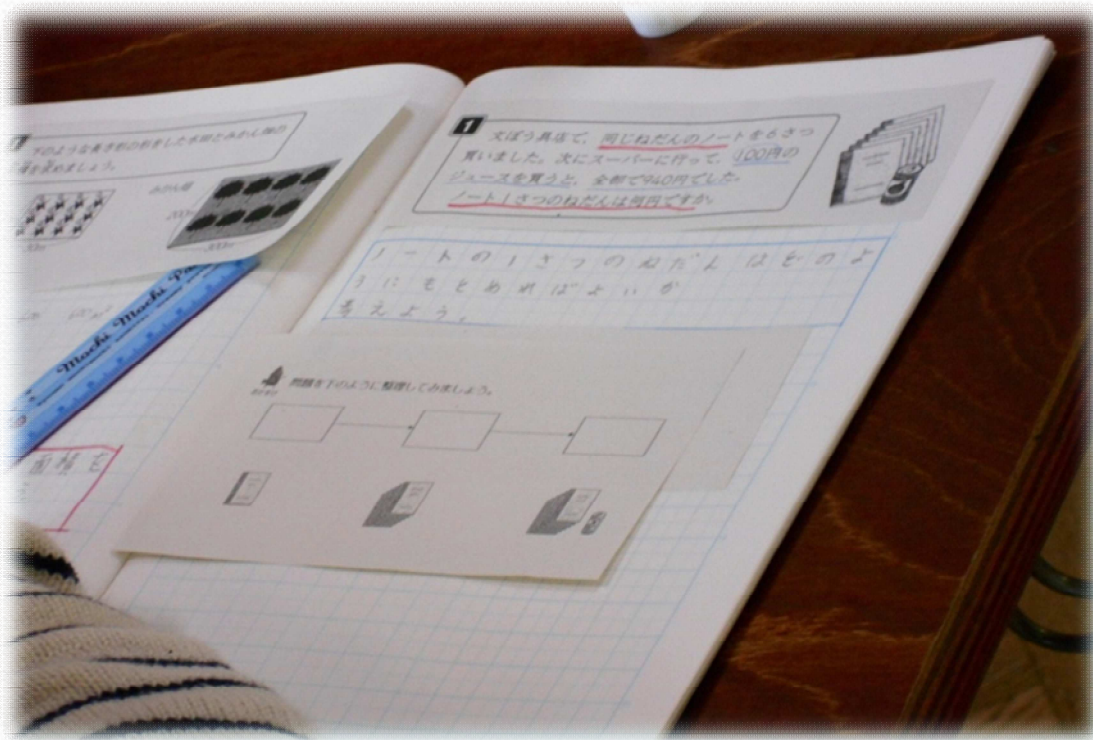
授業と授業の間は、休憩やトイレだけでなく、自分で次の授業の準備をし、教室移動などをする時間です。

1年生の授業の様子 (通常の学級)





通常の学級では、自分の考えを持ち、友達に伝え、友達の考えと比べることで自分の考えを深める「学び合い」に力を入れています。



「通常の学級」の中での特別支援教育 教室にいる様々な個性の子ども達



担任が中心となり、大きな集団（最大35～40人）
の中で特別支援教育を実施

例) 長時間集中することが難しい

座席の配慮
担任が個別に声かけ
掲示物の工夫



通級指導教室

- 通常の学級に在籍しながら、週1～2時間個の教育的ニーズに応じた学習をします。
- ことばときこえの教室（言語通級指導教室）
ことばの学習、発音の学習、きこえの学習
- LD・ADHD等の通級指導教室
人と上手にかかわる方法の学習など
- 県立特別支援学校教員によるサテライト教室・通級指導（見え方・聞こえ・からだ）

通級指導教室を利用するには

通常の学級で、担任が中心となった特別支援教育
(個別の声掛け・座席の配慮など)

- ・ ⇒担任と保護者で、個別の指導計画を作成する



個別の指導計画を作成するなかで、通常の学級
で実施する特別支援教育に加えた、個別の支援
が必要であることの確認

学校からの要請により、まなびサポートが参観します。
その後、通級指導教室の利用について、検討されます。

特別支援学級

- 少人数（1クラス最大8人）での学習
- 児童生徒の状況や習熟度に応じたグループ学習・個別学習（使用する教科書は児童の状況や習熟度によって異なる）
- 体験学習等を通じて、生活の基本となる技術や行動を学ぶ
- 通常の学級との行事や教科学習への交流を児童生徒の状況や各校の状況に応じて実施

特別支援学級では、具体物を使用して学習、個の課題に応じたプリントやタブレットを使用した学習など、その子に応じた指導・支援を行っています。



市外には、さらにきめ細かい特別支援教育を行うことができる特別支援学校があります。

特別支援学校

- 少人数(1クラス最大6人)での学習
- 生活上の自立を図るための知識や能力を身に付けることを目的としている。
- 小学校との学校間交流や、居住地校交流などの交流及び共同学習を行っている。
- 県立市川特別支援学校、県立市川大野高等学園、県立船橋特別支援学校などがある。



特別支援学校では、専門的知識を持った教員により、個別や小グループでの学習を行う。
一人一人に応じた道具が豊富で、自分でできることを増やしていくための指導・支援を行っている。



いろいろな学びの場

	通常の学級	特別支援学級	特別支援学校
主な学習形態	集団での 教科学習	個に応じた 教科学習	生活上の自立 を図る
学校	小・中・高	小・中	(幼)小・中・高
1学級の 児童生徒数	40名 (小1～4年生 は35名)	8名	6名 (重複3名)
担任	1名	1名	1名

就学相談が必要な方

特別支援学校、特別支援学級への就学を希望されている方は、まなびサポートの就学相談を受けたうえでの手続きが必要です。通常の学級と特別支援学級で迷っている方も就学相談が必要です。

- ①「就学説明 受付個票」の「個別相談を希望」に○



まなびサポート職員から保護者宛てに電話をします。
お子さんの力が発揮できる学びの場を保護者と一緒に考えていきます。

- ②「就学説明 受付個票」の「個別相談を希望しない」に○



随時、就学相談は受け付けています。
就学後も、継続して学校支援を行います。

就学相談の流れ

(別紙 資料参照)

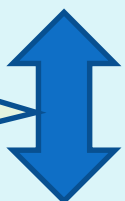
就学相談申し込み 就学への希望、不安をお聞かせください



6～7月 学区の特別支援学級を見学案内
園、学校訪問

集団の中の生活・学習場面を参観し、
お子さんの姿を共有しながら相談

必要に応じ
複数回



個別相談

就学相談は、随時受付しています。

10月 学校公開

11月 就学時健診

当日の配慮の必要性について相談

就学先希望の決定

市内通常の学級・特別支援学級
県立特別支援学校

1～2月 小学校への引継ぎ準備 学校への引継ぎ内容を相談

就学（入学）までの流れ

- 9月 教育委員会から「就学时健診・学校公開の案内」送付
- 10月 各小学校で学校公開
- 11月 各小学校で就学时健康診断
- 1月 教育委員会から「入学通知書」送付
- 4月 入学式に参加

まなびサポートとは？

お子さんが笑顔で学校生活を送れるようにお手伝いをします

①就学相談

お子さんに適した学びの場と一緒に相談していきます

②学校生活の相談

入学後の支援を学校とともに相談していきます

☆担当スタッフ

指導主事・指導員・医師・スーパーバイザー

相談員（言語聴覚士・臨床心理士・公認心理師・理学療法士・
作業療法士）

☆問い合わせ

教育センター（富岡小学校 内）

TEL 381-7961